

2020年度事業計画書

I 概況

1. 入館者数 100,000人

2019年度は入館者数増と認知度を高めるため、様々な展示・イベントを開催いたしました。平成・令和の関連資料展示（平成最後の試合ウイニングボール、令和最初の試合第1球、令和第1号本塁打バット、ボール）、特別展「平成の高校野球」、プレミアム12優勝トロフィーや関連資料展示などが好評を得、入館者増に繋がりました。さらに、各企画展に応じたトークショーを適宜開催し、話題性を高めました。

6月12日には入館料を一律60円とする開館60周年記念の特別企画を実施し、お客様への感謝と誘客を行いました。

この様に、幅広い年齢層にわたり、様々な企画を開催し、野球の振興・普及に努めた結果、入館者数は、前年同様11万人を達成する見込みでしたが、2月より新型コロナウイルスの影響が出始めており、10万人台半ばになるとおられます。

2020年度は、東京オリンピック開催に相応しい企画展、イベントを開催いたしますが、来館者が1番多い夏休み期間にプロ野球の開催が少なくなるため、厳しい状況が予想されることから、入館者数は100,000人を目指してまいります。

なお、新型コロナウイルスの影響によりますが、今年度中に累計来館者600万人を達成する予定です。

2. 野球殿堂

今年の野球殿堂入りが決定した田淵幸一氏の表彰式を、7月中旬に開催されるオールスター・ゲームで行う予定です。また、特別表彰の前田祐吉氏、石井連藏氏の表彰式につきましては、5月に開催される東京六大学野球春季リーグ戦 慶應義塾大学 対早稲田大学の試合開始前に行う予定です。

恒例通り、表彰式終了後に、顕彰者ゆかりの品々を展示する「野球殿堂入り特別展」を殿堂ホールにて開催いたします。

なお、各団体にご協力いただいた殿堂ホールのリニューアルですが、10月に掲額什器の設置を行うことができました。

3. 維持会員数の拡大と制度の充実

維持会員加入を促進するため、会員制度の見直しを図り、各種特典の充実と積極的な案内活動を行います。

4. 表彰委員会規程改正小委員会の設置

昨年設置しました特別表彰研究会で議論した事項や表彰委員会規程に関する課題を検討し、規程の見直しを図るため、小委員会を設置いたします。

5. その他

当館の職員で構成された検討チームで提案されたホームページのリニューアルを実施し、誘客につなげたいと考えております。

Ⅱ 館内活動

【図書室】

<ベースボール・インフォメーション・センター化に向けて>

- (1) 図書管理システムへの資料の登録を計画的に行う。
- (2) O P A C (オンライン蔵書検索)とT w i t t e rを活用し、情報発信を行う。
- (3) 国立国会図書館のデータベースを利用するための研究を行う。
- (4) 日本複製権センターとの契約を見直す。

<収集>

- (1) プロ野球や高校、大学、社会人、軟式、女子野球等の資料を収集する。
- (2) 外国語の野球に関する書籍・雑誌を収集する。
- (3) 野球漫画を収集する。

<整理・保存・活用>

- (1) 図書室内の整理を行い、分類別の配架を徹底する。
- (2) 図書室の資料の整理を大規模に行う。
- (3) 財産目録上にある資料の処遇について検討を行う。
- (4) スプリンクラー対策のため、はっ水加工した中性紙のボックスや、防水性のスライドチャック式アーカイバル用品を継続して導入する。
- (5) 紙の酸化による資料の劣化を防ぐため、脱酸処理を行う。
- (6) 野球界の出来事と連動する書籍を「図書紹介コーナー」で紹介する。
- (7) 複本を国立国会図書館などの図書館へ寄贈し、野球関係資料の分散保存を進める。

<教育普及活動>

- (1) 夏休み期間中に、図書室にて小学生の自由研究の対応を行う。

<調査研究>

- (1) 明治・大正期の野球に関する資料の調査研究。
- (2) 野球文化に関する資料の調査研究。

【学芸員室】

< 収集 >

- (1) 資料収集方針に沿って資料を収集し、コレクションの充実を図る。また、東京2020オリンピック野球競技の関連資料の収集に注力する。

< 整理・保存・活用 >

- (1) 分類別収蔵を徹底し、収蔵環境向上に努める。大量に保管している写真ネガの処遇を検討する。

< 展示・イベント >

[企画展・特別展]

- (1) 侍ジャパン応援企画「野球日本代表の軌跡」
3月14日(土)～8月31日(月) 予定
- (2) 「野球殿堂入り特別展」 5月中旬～10月中旬 予定 ※殿堂ホールで開催
- (3) 野球で自由研究 7月11日(土)～8月23日(日) 予定
※イベントホールで開催
- (4) 「東京2020記念展」 9月4日(金)～11月29日(日) 予定
※イベントホールで開催
- (5) 「こどもの遊びと野球」 9月12日(土)から11月29日(日) 予定
- (6) 「野球で自由研究コンテスト作品展」 ※殿堂ホールで開催
11月28日(土)～21年1月3日(日) 予定
- (7) 「野球報道写真展」 12月12日(土)～21年2月23日(火) 予定

[常設展・特集展示]

- (1) 鶴岡一人と南海ホークス 4～6月 予定
- (2) 野球を愛した音楽家たち 5～7月 予定
- (3) 全日本大学野球選手権大会 6月 予定
- (4) 高校野球特集展示 選抜3～5月、選手権6～8月 予定
- (5) プロ野球100年(仮称)
- (6) 都市対抗野球 11～12月

[イベント]

- (1) 野球シーズン開幕イベント 3、4月
- (2) ゴールデンウィークイベント 5月
- (3) 開館記念日イベント
- (4) 12球団デー

- (5) 野球殿堂入りの方々によるトークイベント
- (6) 野球で自由研究！関係イベント
審判員、記録員イベント、バット製作実演、グラブ製作教室等
- (7) 野球殿堂アプリ関係

< 調査・研究 >

- (1) 企画展・特別展開催に際し、それぞれのテーマについて情報を収集する。
- (2) 引き続き19世紀の日本野球の調査研究を続ける。
- (3) 2020年東京オリンピックに向け、五輪と野球に関する調査を行う。

< 教育普及活動 >

- (1) 学校教育向け体験学習プログラムの対応を行う。2020年度の受入れは、原則として平日の火、水、木、金で①10:30、②13:00の1日2組とし、①野球の歴史について、②野球殿堂博物館について、③野球にまつわる仕事についての3種のテーマを選択してもらい、担当者からプレゼンテーションを行う予定。
- (2) 野球で自由研究コンテストを開催する。

< 学校教育との連携 >

- (1) 学芸員課程の履修学生を、夏休み期間中に実習生として受入れる。

【普及・広報活動】

- (1) 企画展やイベント情報を積極的にテレビ、ラジオ、新聞、情報誌などにリリースし、マスコミへの広報に努める。また、チラシやポスターを製作し、東京ドーム構内や首都圏の本拠地球場、近隣施設等で配布、掲示し、周知に努める。
- (2) ホームページのリニューアルを行う。
- (3) ホームページやSNSで企画展やイベント情報を紹介する。
- (4) 当館を紹介する記事、番組の取材や撮影に積極的に協力してPRに努める。
- (5) NPB、アマチュア野球関係団体に働き掛け、当館を利用したイベント、記者会見等を積極的に誘致し、館内の有効利用に努める。
- (6) 「ニュースレター」を年4回発行し、配布する。

【大会・会議等への参加】

- (1) 日本博物館協会や東京都博物館協議会、日本図書館協会や日本体育図書館協議会、専門図書館協議会などの大会や総会、研修会に参加し、情報交換を行う。
- (2) 秩父宮記念スポーツ図書館をはじめ、スポーツ系の博物館・図書館との連携を保つ。

【建物設備の維持管理】

- (1) 空調設備の室外機、室内機の保守点検を、年4回専門業者に委託して、維持管理につとめる。
- (2) 映像設備のランプ交換を年1回行う。
- (3) 消防設備の保守点検を年2回専門業者に委託して行う。
- (4) 自動扉の点検を、年3回専門業者に委託して行う。
- (5) エレベーターの保守点検を、年4回専門業者に委託して行う。
- (6) 受付ポスレジシステムの点検を、年2回専門業者に委託して行う。
- (7) 館内カーペット洗浄を年1回専門業者に委託して行う。
- (8) 受付ポスレジのソフト改修を行い、顧客データを取得することで、今後の運営に活用させる。

【収益事業】

- (1) NPBの統一試合球やオリジナルスコアブック、当館オリジナル商品、ポストカード等の販売に力を入れるとともに新商品開発にも努める。また、企画展や特別展と連動した商品販売を行う。
- (2) 2020年殿堂入り・田淵幸一氏の野球殿堂入り記念サインボールを、NPBオンラインショップで販売する。
- (3) 2018年殿堂入り・松井秀喜氏レプリカレリーフを引き続き販売する。

Ⅲ 館外活動

- (1) 館外貸出
野球界関連の団体、公共団体、類縁機関などの展覧会やイベントに際し、資料貸出だけではなく、企画内容に関する相談にも対応するなど積極的に協力し、野球の底辺拡大に努めるとともに、野球殿堂博物館の認知度を高める。
- (2) 船橋市との相互協力協定
2017年4月22日、千葉県船橋市と、野球文化の振興に関する相互協力のための協定を締結した。今年度も引き続き、同市と情報交換、調査・研究、広報活動などで相互支援を行う。
- (3) 全国博物館大会（横浜）への参加

Ⅳ 野球殿堂関連の事業

- (1) 2020年に野球殿堂入りされた田淵幸一氏、前田祐吉氏、石井連藏氏のレリーフ制作を、彫刻家 松田光司氏に依頼するとともに、競技者表彰の田淵氏の表彰式をプロ野球オールスター・ゲームの試合開始前に、特別表彰2氏の表彰式を東京六大学野球春季リーグ戦、慶應義塾大学 対 早稲田大学の試合前に開催できるように調整する。

- (2) 昨年、3回にわたり開催された特別表彰研究会の流れを受け、表彰委員会規程の見直しを図るため、表彰委員会規程改正小委員会を開催する。
- (3) 野球殿堂入り特別展を、5月中旬から10月中旬にかけて、3氏の写真パネル・借用資料・当館の収蔵物等を展示して、野球殿堂ホールにて開催する。
- (4) 2021年の野球殿堂入り有資格者の調査を行い、基礎資料を作成する。その資料をもとに、競技者表彰委員会の幹事による幹事会を、東京と大阪で開催し、翌年の野球殿堂入りの候補者を決定、候補者を発表する。
- (5) 競技者表彰委員会委員の異動調査を、各社の代表を通じて行った後、各社代表経由で、各社の委員に投票用紙等を配布、期限を定めて、記名投票にて、投票用紙の回収を行う。その後、競技者表彰委員会 東京幹事会の幹事により、開票作業を行う。
- (6) 特別表彰委員会 候補者選考委員会を開催し、2021年度の候補者を決定、候補者を発表し、特別表彰委員会委員に対して、事前に投票用資料を郵送する。その後、特別表彰委員会を開催し、野球殿堂入りの投開票を行う。
- (7) 競技者・特別両委員会の2021年野球殿堂入り通知式を、当館の野球殿堂ホールにて行い、終了後、東京ドームホテルにて、野球殿堂入りされた方々と関係者の懇親会を開催する。